

技術と社会部門 2014 年度部門賞報告

2014年度部門賞および部門一般表彰報告

高田 一(横浜国立大学)

技術と社会部門では、部門に関連する研究と活動の進展を促進するために、部門賞および部門一般表彰を設けています。2014年度の部門賞および部門一般表彰につきましては、会員の皆様からの推薦をもとにして、第92期(2014年度)表彰委員会〔委員長：池森 寛(もと西日本工業大学)〕で審議・選考され、2015年4月27日(月)の部門第1回運営委員会において決定されました。贈賞式・表彰式は、2015年11月28日(土)開催の2015年度技術と社会部門講演会(長野)の懇親会の席上で行われました。受賞者、表彰者は以下の方々です。

部門賞

部門業績賞 (Technology and Society Achievement Award)

受賞者：石田 正治 君(愛知県立豊川工業高校 教諭*)

*：上記は審議・選考時の情報で、受賞時の所属等は名古屋工業大学非常勤講師

[贈賞理由]

石田正治氏は、日本機械学会創立100周年記念事業に関係して、日本機械学会特別員産業記念物の調査の際、「産業技術記念物データベース(1994)」を構築し、その後、新エネルギー・産業技術総合開発機構の委託研究「産業技術歴史継承調査」に関わって、「機械技術遺産データベース(1999)」、「日本の機械技術者データベース(2001,2002)」、「日本機械学会歴代会長データベース・幹事長データベース(2001,2002)」を作成し、創立110周年記念事業として始められた「機械遺産」のデータベースの基礎を作りあげた。また、機械遺産委員会委員として、数々の機械遺産の発掘、認定に尽力されており、技術史研究の業績と本部門活動への貢献は誠に顕著であり、技術と社会部門「業績賞」に値する。

なお、著書として『三遠南信 産業遺産』春夏秋冬叢書(2006)、『日本の機械遺産』(共著)オーム社(2000)がある。

部門一般表彰

優秀講演論文表彰 (Technology and Society, Certificate of Merit for Outstanding Presentation)

表彰者：丹治 明 君(日本工業大学, 工業技術博物館 講師 学芸員)

松野 建一 君(日本工業大学, 工業技術博物館 館長)

対象論文：「昭和初期製工作機械の3Dモデルを活用した内部機構の調査と展示方法の検討」

発表日 2014年11月15日 2014年度技術と社会部門講演会(豊橋市)

[表彰理由]

本研究は、昭和初期の国産工作機械の図面を元に、3Dモデルで現在に蘇らせ可視化して、その内部構造を調査し、博物館の展示資料に提供するものである。過去に設計・製造され、消滅してしまった工作機械の中には、秀逸な機械構造・機械要素を有するものもあり、電子制御が主流の現代においても、それらは若い技術者達への更なる創造への指針となり得ると考えられる。歴史的な工作機械の詳細を当時の図面から想像することは、熟練した技術者でも困難であり、ましてや、実物を製造することは膨大な資金と時間を必要とし、現実的ではない。本研究では、博物館保存の製造用図面から3D-CADを用いて制作し、当時の工作機械の3Dモデルを、ディスプレイ上ではあるが復元している。内部機構は詳細に描かれ、それらが動き、工学的にも整合性がとれている状態で可視化されている。技術史研究の分野に3D-CADを活用して、3Dモデルにより歴史的に貴重な工作機械を、専門技術者以外にも理解し易く詳細な研究・教育資料を提示した点は、高く評価できる。また、歴史的機械の見える化・分かる化を行ったことは、技術史研究に新しい手法を提案したことにもなる。さらに、本研究は科学研究費補助金基盤研究として平成27年度まで続き、さらなる進展も期待できる。以上、当講演論文は新規性・有効性・発展性があり、優秀講演論文表彰に値する。

日本機械学会技術と社会部門ニュースター: <http://www.jsme.or.jp/tsd/news/index.html>

日本機械学会

技術と社会部門ニュースターNo.33

(C)著作権:2016 一般社団法人日本機械学会 技術と社会部門